

# ■ 地方創生拠点整備交付金事業（平成30年度～令和4年度）の取組状況（国庫1／2）

※1 事業開始年度から令和4年度までのKPI増分の目標における割合

- ※2 ①「地方創生に非常に効果的であった」・・・全てのKPIが目標値を達成（100%以上）するなど、大いに成果が得られたと見なせる場合  
 ②「地方創生に相当程度効果があった」・・・一部のKPIが目標値に達しなかった（100%未満）ものの、概ね成果が得られたとみなせる場合  
 ③「地方創生に効果があった」・・・KPIの達成状況は芳しくなかった（全KPIが100%未満）ものの、事業開始前より取組が前進・改善したとみなせる場合  
 ④「地方創生に対して効果がなかった」・・・KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組として前進・改善したとは言い難いような場合  
 ⑤「効果の有無はまだわからない」・・・整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

交付対象事業の名称・概要	年度	対象事業費 (単位:千円)	国費 (単位:千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)													実績【実数】		実績数値の理由・背景等					
				指標	【増分】					【実数】					達成率 (※1)	効果 (※2)	【凡例】 ■目標 ■実績							
					H30	R1	R2	R3	R4	事業開始 前年度値	H30	R1	R2	R3				R4						
○地域振興機能や観光ゲートウェイ機能、防災機能を有する道の駅の整備  中町「道の駅」について、県北部地域の拠点を目指し、「地域振興機能」、「公共交通の結節点機能」、「地域観光のゲートウェイ機能」、「防災機能」の4つの機能を担う道の駅として整備する。	R4	40,000	20,000	中町「道の駅」の年間利用自動車台数	目標	/	/	/	/	0万人	0万人	/	/	/	/	0万人	-	⑤ 効果の有無はまだわからない	-	令和6年度に供用開始予定のため、KPIの設定については、供用後に設定を行う。				
					実績	/	/	/	/	1万人	0万人	/	/	/	/	-万人								
				中町「道の駅」施設内の観光消費額	目標	/	/	/	/	0百万台	0百万台	/	/	/	/	0百万台	-		-	-	令和6年度に供用開始予定のため、KPIの設定については、供用後に設定を行う。			
					実績	/	/	/	/	1百万台	0百万台	/	/	/	/	-百万台								
○(仮称)奈良県国際芸術家村整備事業  文化財の保存・修復と文化財を含む歴史文化資源の活用に係る施策を総合的・一体的に展開するための拠点「(仮称)奈良県国際芸術家村」を整備(平成32年度完成予定)。交流人口や宿泊者数の増加によって県内消費を拡大させ、地域経済の活性化を図ることを目指す。	H30	866,246	433,123	施設の年間利用者数	目標	/	/	/	50万人	5万人	0万人	/	/	/	50万人	55万人	153%	② 地方創生に相当程度効果があった		-		令和4年3月開村以降、県外からも多くの来館者があった。		
					実績	/	/	/	6万人	78万人	0万人	/	/	/	6万人	84万人								
				経済効果(観光消費額)	目標	/	/	/	2,720百万円	272百万円	0百万円	/	/	/	2,720百万円	2,992百万円			-	-	-		R3年度の閉館日が11日間であったこともあり目標未達成となっているが、R4年度は施設利用者数が見込みを上回っているため増加傾向にある。	
					実績	/	/	/	34百万円	-百万円	0百万円	/	/	/	34百万円	-百万円								
文化財の保存・修復と文化財を含む歴史文化資源の活用に係る施策を総合的・一体的に展開するための拠点「(仮称)奈良県国際芸術家村」を整備(平成32年度完成予定)。交流人口や宿泊者数の増加によって県内消費を拡大させ、地域経済の活性化を図ることを目指す。	H30 (基金事業)	1,587,146	793,573	施設の年間利用者数	目標	/	/	/	50万人	5万人	0万人	/	/	/	50万人	55万人	153%	② 地方創生に相当程度効果があった	-			令和4年3月開村以降、県外からも多くの来館者があった。		
					実績	/	/	/	6万人	78万人	0万人	/	/	/	6万人	84万人								
				経済効果(観光消費額)	目標	/	/	/	2,720億円	272億円	0億円	/	/	/	2,720億円	2,992億円			-	-	-		R3年度の閉館日が11日間であったこともあり目標未達成となっているが、R4年度は施設利用者数が見込みを上回っているため増加傾向にある	
					実績	/	/	/	34億円	-億円	0億円	/	/	/	34億円	-億円								
				経済波及効果等	目標	/	/	/	17億円	2億円	0億円	/	/	/	17億円	19億円			-		-	-		R3年度の閉館日が11日間であったこともあり目標未達成となっているが、R4年度は施設利用者数が見込みを上回っているため増加傾向にある
					実績	/	/	/	2億円	-億円	0億円	/	/	/	2億円	-億円								

■ 地方創生拠点整備交付金事業（平成30年度～令和4年度）の取組状況（国庫1／2）

※1 事業開始年度から令和4年度までのKPI増分の目標における割合

- ※2 ①「地方創生に非常に効果的であった」・・・全てのKPIが目標値を達成（100%以上）するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合  
 ②「地方創生に相当程度効果があった」・・・一部のKPIが目標値に達しなかった（100%未満）ものの、概ね成果が得られたとみなせる場合  
 ③「地方創生に効果があった」・・・KPIの達成状況は芳しくなかった（全KPIが100%未満）ものの、事業開始前より取組が前進・改善したとみなせる場合  
 ④「地方創生に対して効果がなかった」・・・KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組として前進・改善したとは言い難いような場合  
 ⑤「効果の有無はまだわからない」・・・整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

交付対象事業の名称・概要	年度	対象事業費 (単位:千円)	国費 (単位:千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)													実績【実数】		実績数値の理由・背景等	
				指標	【増分】					【実数】					達成率 (※1)	効果 (※2)	【凡例】 ■ 目標 ■ 実績			
					H30	R1	R2	R3	R4	事業開始 前年度値	H30	R1	R2	R3				R4		
4 QNAFICを核とした奈良の食の魅力創造拠点整備事業  「食」と「農」のトップランナーの育成を目指す大学校及び農業分野の研究拠点である農業研究開発センターに隣接する場所に、セミナールームや宿泊できるゲストルームを備えたセミナーハウスを設置。地域の特産農産物の商品化や高付加価値化につながるプログラム、農作業の合理化や効率化等に寄与する取組を、研究機関や地域団体、関連企業等と連携し、企画・展開する。	H30	399,000	199,500	プログラムイベントに参加した人が、地元食材を使った外食を増加させる額	目標	0 百万円	0 百万円	400 百万円	400 百万円	400 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	400 百万円	800 百万円	1,200 百万円	22%	③ 地方創生に効果があった		
					実績				0 百万円	260 百万円	0 百万円				0 百万円	260 百万円				
				地域への来訪者数	目標	0 人	15,000 人	15,000 人	40,000 人	40,000 人	20,000 人	20,000 人	35,000 人	50,000 人	90,000 人	130,000 人	5%			
					実績				0 人	5,965 人	0 人				0 人	5,965 人				